

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜工業高等学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年11月12日(金) 午後1時30分～午後4時30分
- 3 参加者

| | | |
|-----|-------|-------------------------|
| 会長 | 岩田 勝美 | (株)岩田鉄工所 代表取締役 |
| 副会長 | 青木 秀益 | 育友会会長 |
| 委員 | 大野 千春 | 地域住民代表 |
| | 岡島 佑亮 | (株)光製作所 総務部 係長 (ご欠席) |
| | 加藤 大武 | (株)加藤組 代表取締役 (ご欠席) |
| | 木下 詩乃 | 育友会副会長 |
| | 駒瀬 典子 | 羽島保護区更生保護サポートセンター センター長 |
| | 佐溝 勝樹 | 地域住民代表 (ご欠席) |
| | 杉山 明 | 名古屋鉄道(株) 笠松駅駅長 |
| | 種村 久子 | 地域住民代表 (ご欠席) |
| 学校側 | 森 保 | 校長 |
| | 上村さとみ | 事務部長 |
| | 中村 豊 | 副校長 |
| | 土田 公成 | 教頭 |
| | 高木 裕直 | 教頭 |
| | 阿部 光明 | 教務主任 |
| | 柴田 祐一 | 生徒指導主事 |
| | 前川 隆英 | 進路指導主事 |
| | 草壁 善則 | 工業部長 |

4 会議の概要

(1) 校内見学

①1年7組(実習)・2年1組(実習)・3年8組(課題研究)・3年3組(実習)の授業を見学

(2) 本校の教育方針と現在の状況について説明

- ①本校の教育方針と現状について
- ②学習指導について
- ③生徒指導について
- ④進路指導について
- ⑤工業教育の取組について
- ⑥定時制の教育活動について
- ⑦スクール・ポリシーについて

(3) 質疑応答・協議

意見1：実習を見学し、特に電子機械工学科が良かった。ただ、機器が古く17年前のパソコンを使用している。現在の企業では、使用されていないパソコンのため残念である。作業服の下にネクタイをしているのはミスマッチである。安全面からも取らせるべきである。制服は山本

寛齋氏のデザインであるが、亡くなられたが、どうするのか。

⇒ 現在ライセンスが切れているので、山本寛齋氏のデザインではなくなっている。

意見2：岐阜工業高校に来校していつも思うのは、挨拶がしっかりできていることである。ネットで授業公開している学校もあると聞くので、個人情報の面で対策を講じる必要があると思うが、保護者や中学校を対象に期間を限定して授業公開することができれば良いPRになるのではないか。タブレットを活用しているのは良いと思う。部活動について、個人的な意見であるが、昔から強いサッカー部に頑張してほしい。

意見3：工業高校を初めて見学させていただいたが、見るものすべてが驚きと魅力と感動であった。女子生徒に質問をさせていただいたが、非常に意欲的で、将来に向けて考えている姿がうかがえた。もっと色々な人に本校の魅力を知ってもらう必要がある。映像を見るだけでなく、実際に来て、目で見て感じるものはすごく大きい。コロナ禍で難しい面はあるが、コロナ禍だからできることを先生方が知恵を絞ってもらえれば、PRに繋がるのではないか。

意見4：航空機械工学科で実習をやっていたが、岐阜県で航空を教える何処で働くのか。飛行機の整備も何処でやるのか。岐阜県の税金で育てて、その人材をどこに持っていくのか。航空機械工学科ではなく、機械科でないとダメである。機械科であれば、すべての産業に行くことができる。自社でも飛行機の部品を製造しているが、部品を製造しているのは鉄工所であり、鉄工所で働ける人材を育成しないといけない。工業高校で機械科が無いというのは、工業高校とは言えないと思う。

1年未満に離職する生徒はどれくらいいるのか。

⇒ 調査はしている。数値は即答できないが、離職率は低い。各科3年後の離職を調査し、データも取っている。離職率は少なく、定着率が良いとの評判を聞いている。

意見5：コロナ禍で中学校へのPRが難しいと聞いている中、夏に見学会を実施され、実際に見学に来られた保護者の知り合いから、体育館が非常に暑くて大変だったと聞いた。秋にそういった見学会が開催できればよいと思う。西岐阜駅からのバスもつながったが、交通の利便性も含めてPRすれば、保護者も安心して通わせることができるのではないか。

本を読ませる時間を設けているのか。本を読まない生徒が多い中で、活字を読む時間、新聞記事を読む時間などを作ることで、自分が求めている情報や動画しか見ない生徒にとっては、社会に触れる機会ができるようになる。

⇒ 新型コロナの関係で中止になってしまったが、以前は1日入学を秋に行っていた。今年は、10月9日、10日でオープンスクールを開催した。また以前は、朝に読書を行っていたが、現在は基礎学力定着に向けて朝は学習を行っている。

意見6：出前授業など依頼があれば、羽島ロータリークラブから社会に出て役に立つ話など、講演してもよい。インターアクト部は、どんな活動をしているのか。高校生の頃は、人格形成の終盤であり、外部の人から話を聞くことは大切である。

⇒ コロナ禍で活動が制限されているが、施設等への慰問を行っている。外から来ていただくような活動は、行っていない。今年度は、車いすバスケットのメダリスト秋田選手様から講演をしていただくことになっている。

意見7：バスで企業見学を行っている聞いたが、進路選択にとっては大事である。今後も機会を増やせるとよい。

意見8：本校の生徒は、マナー良く電車に乗車している。一つ心配な点は、笠松駅のロータリーや地下道を通って自転車で部活動に行く生徒がいるが、その時に人と接触しそうになることがあり、事故にならないか心配している。

意見9：スクール・ポリシーは、素晴らしい提案である。

第2回学校運営協議会では、出席の全委員より今年度の本校の学校運営基本方針やスクール・ポリシーについて承認が得られた。

学校内を実際に見ることで、本校教育活動に関して理解が得られ、一層の活動の充実を期待されたが、一方で、新型コロナウイルスの関係で、感動や経験不足の克服や実習設備の一層の充実と、新しい設備や施設そして企業やOBの力を如何に有効に活用するか、また、どのような方法で中学生や保護者にPRしていくかなどが今後の課題として挙げられた。

生徒自身が培ってきた能力を周りにしっかりとアピールできるよう、表現力や発信力を身につけ、将来地域や職場のリーダーとして活躍できるように学校として取り組んでいきたい。また、中学生や地域の方が、本校に興味や関心を持ってもらえるよう、様々な教育活動の情報発信を色々な方法を工夫し伝えていきたい。